

身体的強靱性の自己評価と「男性的な」男性顔に対する選好の関連

Self-rated physical strength predicts preferences for male facial masculinity in men.

高橋 翠¹⁾、遠藤利彦¹⁾、石井佑可子²⁾

Midori TAKAHASHI¹⁾, Toshihiko ENDO¹⁾, Yukako ISHII²⁾

E-mail : hisui-green@hotmail.co.jp

和文要旨

「男性的な」印象を与える特徴をより強く備える男性顔 (male facial masculinity) に対する魅力評価には個人差があることが明らかにされている。しかし、先行研究は女性評定者の個人差要因に焦点化しており、男性でも男性的な男性顔の魅力評価に個人差があるのか、いかなる要因が男性的な男性顔の選好に関連しているのかは不明である。そこで本研究では、男性の男性的な男性顔に対する魅力評価の個人差要因として、魅力に関する心理学研究で一貫して明らかにされてきた類似性の効果に着目した。

男性的な印象を与える顔の特徴は、特に男性において身体的強靱性のシグナルであることが明らかにされている。本研究では身体的強靱性が高い男性ほど男性的な特徴をより強くもつ男性顔を魅力的と評価する可能性を検討するため、男女の平均顔を元に男性的な顔の特徴が体系的に異なる顔画像を作成し、男女の評定者に男性/女性の顔としてそれぞれ最も魅力的に感じられる顔を選択してもらった。その結果、男性評定者のみで身体的強靱性の自己評価の高さは、同じ特性のシグナルである、より男性的な特徴をもつ男性顔に対する選好と正の相関関係にあった。男性評定者における身体的強靱性の自己評価と男性的な男性顔に対する選好の相関は、全般的な自己評価の高さを統計的に統制した後も認められた。

キーワード：魅力 性的二形 男性的な顔の特徴 身体的強靱性 性差

Keywords : attractiveness, sexual-dimorphism, facial masculinity, physical strength, similarity

1. 諸言

男女の顔には第二性徴を反映した差異が存在する (性的二形 sexual dimorphism) [1]。こうした顔の特徴は思春期以降に性ホルモンの作用を通じて形成されるため、性ホルモン・マーカー (sexual hormone marker) とも呼ばれる [2]。男女共に性的二形を示す顔の特徴をより多く備えている顔ほど、「その性らしい (男性的 masculine/女性的な feminine)」印象が強く知覚される [2] [3]。

これまでに、「男性的な」印象を与える特徴 (facial masculinity) (発達した下顎や細く/高く

隆起した頬骨が特徴的) をより多く備える男性顔をどのくらい魅力的に感じるかということには、広範的な個人差が存在することが明らかにされている (総説として [1])。具体的には、進化心理学的観点に依拠した研究を通じて、男性において男性的な顔の特徴は繁殖力のシグナルであるために、女性は自身の繁殖戦略においてパートナーの繁殖力が重要になるほど (性ホルモン周期における受胎可能期間 [4] やパートナーがいる女性が短期的関係を想定する場合 [5]、短期的関係性に対する指向性が高い女性が評定者である場合 [6])、男性的な男性顔をより魅力的に感じる傾向にある

¹⁾ 東京大学大学院、Graduate School of Education, The University of Tokyo

²⁾ 藤女子大学、Faculty of Humanities, Fuji Women's University